

II 博物館事業

1 常設展示

常設展示の基本理念

- (1) 大井川の歴史、川越制度及び島田宿に関する祭りや文化を中心とした展示とし、島田ならではの郷土色豊かなものとする。
- (2) 館内展示とともに、復元された川越遺跡の街並みを一体として活用し、より一層の効果を高める。
- (3) 展示資料は、実物資料とともに模型・レプリカ・ジオラマ・映像資料等を利用し、できるだけ見る、触れる体験学習ができるようにする。
- (4) 一般市民、児童・生徒を対象として、分かりやすい展示にする。

当館の常設展示室は、時代を島田宿が大変にぎわった江戸時代後期と設定し、「旅と旅人」、「人はなぜ旅をしたのだろうか」をメインテーマに、大井川・島田宿・川越しについて展示しています。

展示室内は、「東海道と島田宿の成立」、「旅人と島田の文化」、「旅と旅人」、「川越し」、「島田髷」、「島田の祭り」、「島田の刀鍛冶」の7つのコーナーに分かれており、『太郎べえと次郎吉』という当館のイメージキャラクターを案内役に、グラフィックや写真を使ったパネルや所蔵品により、分かりやすく展示しています。

博物館分館

明治33(1900)年に建てられた日本家屋に日本庭園、民俗資料室などで民俗資料が常時見学できるようになっており、版画家・海野光弘の作品も記念館等で展示しております。

